

# 日本共産党埼玉県議団NEWS

11年6月定例会特集 NO.6

2011年7月7日 日本共産党埼玉県議団 048-824-3413

## 特別支援学校の整備・拡充を 柳下

### 議員が質問 埼玉県議会特別委

日本共産党の柳下礼子埼玉県議は7月6日、次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会で質問し、特別支援学校の整備、拡充を求めました。

柳下県議は、草加市では、肢体不自由の児童が市外の学校に1時間以上かけて通学し、肢体不自由特別支援学校の設置を求める草加市議会の意見書が採択されたことを指摘。「障害があっても身近な学校に通えるよう特別支援学校をすぐに整備すべき」をつよく迫りました。

県当局は「意見書については承知している。すぐには難しいが、障害者もできるだけ近いところに通えるようにしていくべきと考えている。」とのべました。

また、小児医療センターのさいたま新都心移転計画にともなう岩槻特別支援学校の移転保障についても質問。

県当局は「小児医療センターと特別支援学校は一体のものと認識している。関係部局としっかり議論していきたい。」と答えました。

## 教科書採択めぐり 請願を採択しな

### いで -- 市民団体から要請

7月5日夕、さいたま教育文化研究所の高橋美智子研究委員らが日本共産党議員団の控室に来られ、【「教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した歴史・公民教科書の採択を求める請願」は、違法であり、本会議で採択しないことを求めます】との要請書を手渡されました。

高橋さんらは、このような請願は教育行政に対する圧力であり、改定された教育基本法でも禁止してい

ることだと強調し、採択しないよう強く求めました。また、この請願が事実上拡大を狙っている「新しい歴史教科書をつくる会」系の歴史・公民教科書が採択されたら、子どもたちはとんでもない間違いを教え込まれることになる、「つくる会」系教科書の問題点を指摘しました。

応対した村岡まさつぐ県議は、県議会本会議で自民、民主、刷新の会が相次いで教育委員会に圧力をかけるような質問をしたことに加え、上田知事がその流れに応じるような答弁をしたことを紹介。

「みなさんの行動は心強いกำลังใจです。私たちも採択に反対の立場で頑張りますが、多くの人からも声をあげていただきたい」と話しました。

要請書の内容は以下の通りです。

日々のご活躍に敬意を表しております。

県議会文教委員会は、4日、表記の請願を採択しました。

教科書採択は、教育委員会が、一般行政から独立して、教育行政を管理・運営する機関として、各学校の意向を尊重して決定すべき責任があります。

今回の請願の内容は、公的機関が、教科書採択に関して、影響力を与えることになり、教育への不当な支配に当たります。教育基本法16条1項に違反します。

8日の本会議では、このことを、十分にご承知いただき、採択することのないよう、強く要求いたします。良識にそった行動をとっていただけるよう願っています。